

事務連絡
平成27年7月14日

大学間連携共同教育推進事業
選定大学等事業推進責任者 殿

文部科学省高等教育局
大学振興課大学改革推進室

「大学間連携共同教育推進事業」中間評価結果について

大学間連携共同教育推進事業について、大学間連携共同教育推進事業評価委員会により中間評価を実施していましたが、結果が決定しましたので御連絡いたします。

貴学（貴校）の採択事業に係る中間評価結果は別紙のとおりです。なお、留意事項及び参考意見は当該大学限りに開示されるものです。

今後の事業実施に当たっては、本中間評価結果におけるコメント、留意事項及び参考意見について適切に対応し、今後の取組の改善・充実に努められますようお願いいたします。なお、事後評価においては、中間評価結果に対する対応も観点の一つとなっておりますことを申し添えます。

また、引き続き、本事業の成果の他大学等への波及・還元や、積極的な情報発信に努めるとともに、経費の適切な執行に御尽力くださるよう、よろしく願いいたします。

※中間評価結果は文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会のホームページに掲載することなどにより、社会に公表することとしております。

文部科学省ホームページ

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/renkei/index.htm)

日本学術振興会ホームページ

(http://www.jsps.go.jp/j-ppiuce/hyoka_kekka.html)

文部科学省高等教育局大学振興課
大学改革推進室改革支援第二係 河原、米田
〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-2
TEL 03-5253-4111（内線：3319）
E-mail daikaika@mext.go.jp

「大学間連携共同教育推進事業」中間評価結果

連携の種類	地域連携	整理番号	14
取組名称	多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点		
連携校 ※下線は代表校	<u>長崎大学</u> 、長崎県立大学、長崎国際大学		

(総括評価)

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

[コメント]

本取組は、長崎県内の国公立 3 大学の薬看統合教育体制に医学・歯学等が加わる協働教育体制の下、3 大学 8 学部が県内の 4 自治体・12 職能団体・1 法人と連携する「在宅医療・福祉コンソーシアム長崎」を組織し、多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成の拠点作りを目的としている。本取組は参加大学が学習アウトカムを重視した順次性カリキュラムに基づく大学間単位互換の合同授業・合同実習を行い、大学間連携教育の実質化と質保証を図ろうとするなど、先進的な取組であると認められる。

教育改革については、各連携校が提供するコーディネート科目を含む教育プログラムの開発、成績評価法の統一、質保証システムの構築等が順調に進捗しており、大学間合同授業科目の開発が当初計画を超えて進むなど高く評価できる。

ステークホルダーとの協働・評価については、多様な専門職能団体や自治体と幅広い連携ができています。更に学外有識者による評価体制が工夫されており、本取組の実施状況が適切に評価・提言されることが期待できる。

取組の実施体制・継続発展については、連携 3 大学の学長による協議会を、本取組の基盤となっているコンソーシアムの運営体制の中に位置付け、学長のリーダーシップの下で各大学の特色を生かした連携が進められており、本取組の継続発展が期待できる。

大学間連携共同教育推進事業は、国公立の設置形態を超え、地域や分野に応じて大学・短期大学及び高等専門学校間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行うことにより、教育の質の保証と向上、強みを生かした機能別分化を推進することを目的として、平成24年度から49件の取組が開始されている。

このたび、本事業の開始から3年が経過したことを受け、各取組の進捗状況や成果、事業の継続・発展性等を評価し、教育の質の保証と向上を図るとともに、その成果を社会に公表し、全国的な波及につなげることを目的として、中間評価を実施した。

評価結果は、「S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。」が7件、「A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。」が31件、「B：一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。」が7件、「C：取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには当初計画の縮小等の抜本的な見直しが必要である。」が4件であり、計画どおり順調に進捗している取組がある一方で、計画の見直しが求められる取組も見受けられる。

- 事業全体の進捗状況として、代表校の努力により、以下のとおりの取組や成果が見られた。
- ・教育改革においては、カリキュラム・教材の共通化、ICTを活用した教育コンテンツのアーカイブ化、国際標準を満たすe-learning教材を活用した教育の標準化と教育システムの全国展開、明確な目標に基づいたルーブリックの作成、ナンバリング・成績評価方法の統一などの連携による教育プログラム・質保証システムの構築が実施されている。
 - ・ステークホルダーとの協働・評価においては、ステークホルダーの講義への参加、取組の意思決定機関への参加、インターンシップの受入先の拡大への協力など連携関係の強化が進んでいる。
 - ・取組の実施体制・継続発展においては、全連携校の学長（校長）が参加する協議会によるマネジメント体制の整備、連携校以外の大学等の取組への参画、支援期間終了後を見据えたコンソーシアムとの連携などが行われている。

一方で、取組によっては、支援期間終了後の取組の体制が明確でない点や代表校と他の連携校間において取組内容に偏りが見受けられる点が課題として挙げられる。

社会が急激に変化する中、持続的な成長と発展を築くために、大学等には、主体的に考える力を持ち、社会の様々な課題を解決に導く多様な人材を養成することが求められている。取組を実施する大学等においては、今回の中間評価で示された課題の解決に向けて対応いただくとともに、支援期間終了後の自立的な展開を見据えて着実に取組を進展させた上で、取組の成果を広く連携校以外の他大学等へ波及・還元させることを期待する。

「大学間連携共同教育推進事業」 中間評価結果一覧

区 分	評価基準	地域連携		分野連携		合 計	
		件	割合	件	割合	件	割合
S	計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。	1	4.0%	6	25.0%	7	14.3%
A	計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。	17	68.0%	14	58.3%	31	63.2%
B	一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。	4	16.0%	3	12.5%	7	14.3%
C	取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには当初計画の縮小等の抜本的な見直しが必要である。	3	12.0%	1	4.2%	4	8.2%
D	現在までの進捗状況に鑑み、本事業の目的を達成できる見通しが無い取組であるため、当該取組を中止することが適切である。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	計	25	100%	24	100%	49	100%

小数点第2位を四捨五入

【地域連携】

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
14	多職種協働による在宅がん医療・緩和ケアを担う専門人材育成拠点	長崎大学、長崎県立大学、長崎国際大学

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
1	美しい山形を活用した「社会人育成山形講座」の展開	山形大学、山形県立保健医療大学、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、山形県立米沢女子短期大学、羽陽学園短期大学、東北文教大学短期大学部、鶴岡工業高等専門学校
2	東日本広域の大学間連携による教育の質保証・向上システムの構築	山形大学、会津大学、札幌大学、北翔大学、青森中央学院大学、石巻専修大学、東北芸術工科大学、東日本国際大学、明海大学、国際武道大学、了徳寺大学、東京家政学院大学、東京造形大学、日本女子大学、札幌大学女子短期大学部、北翔大学短期大学部、青森中央短期大学、羽陽学園短期大学、いわき短期大学
4	実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム	千葉大学、城西国際大学、千葉科学大学
5	産学官協働ネットワークによるイノベーション博士養成と地域再生	室蘭工業大学、北見工業大学、 <u>電気通信大学</u> 、富山大学、大分大学、秋田県立大学
6	学都いしかわ・課題解決型グローバル人材育成システムの構築	金沢大学、北陸先端科学技術大学院大学、石川県立大学、石川県立看護大学、金沢美術工芸大学、金沢医科大学、金沢学院大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、金城大学、北陸大学、北陸学院大学、金沢学院短期大学、金城大学短期大学部、小松短期大学、金沢星稜大学女子短期大学部、北陸学院大学短期大学部、石川工業高等専門学校、金沢工業高等専門学校
8	教員養成高度化システムモデルの構築・発信	兵庫教育大学、兵庫県立大学、神戸学院大学、神戸女子大学、神戸親和女子大学、武庫川女子大学
11	西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム	山口大学、香川大学、愛媛大学、佐賀大学、京都外国語大学、京都文教大学、広島経済大学、松山大学、九州国際大学、京都外国語短期大学、愛知みずほ大学、京都光華女子大学、熊本学園大学、愛知みずほ大学短期大学部、京都光華女子大学短期大学部
12	自動車・ロボットの高度化知能化に向けた専門人材育成連携大学院	九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学
13	大学間発達障害支援ネットワークの構築と幼保専門職業人の養成	佐賀大学、西九州大学、九州龍谷短期大学、佐賀女子短期大学、西九州大学短期大学部
16	減災型地域社会のリーダー養成プログラム	熊本大学、熊本県立大学、熊本学園大学、熊本保健科学大学
17	コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築	宮城大学、兵庫県立大学

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
18	彩の国大学連携による住民の暮らしを支える連携力の高い専門職育成	埼玉県立大学、埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学
19	時代が求める新たな教養教育の京都三大学共同(モデル)推進事業	京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学
20	まちなかESDセンターを核とした実践的人材育成	北九州市立大学、九州歯科大学、九州共立大学、九州女子大学、九州国際大学、産業医科大学、西南女学院大学、西日本工業大学
22	産学公連携によるグローバル人材の育成と地域資格制度の開発	京都府立大学、 <u>京都産業大学</u> 、京都文教大学、佛教大学、龍谷大学
24	近畿地区7高専連携による防災技能を有した技術者教育の構築	舞鶴工業高等専門学校、明石工業高等専門学校、奈良工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校、大阪府立大学工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、近畿大学工業高等専門学校
25	高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成	久留米工業高等専門学校、有明工業高等専門学校、北九州工業高等専門学校、佐世保工業高等専門学校、熊本高等専門学校、大分工業高等専門学校、都城工業高等専門学校、 <u>鹿児島工業高等専門学校</u> 、沖縄工業高等専門学校

B：一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
9	大学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャルラーニング	島根大学、島根県立大学、鳥取環境大学、島根県立大学短期大学部、鳥取短期大学
10	臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成	広島大学、広島市立大学、広島工業大学、広島国際大学
15	留学生との共修・協働による長崎発グローバル人材基盤形成事業	長崎大学、長崎県立大学、活水女子大学、長崎ウエスレヤン大学、長崎外国語大学、長崎国際大学、長崎純心大学、長崎総合科学大学、長崎女子短期大学、長崎短期大学
23	地域資格制度による組織的な大学地域連携の構築と教育の現代化	京都大学、京都府立大学、京都産業大学、京都橘大学、京都文教大学、成美大学、同志社大学、佛教大学、龍谷大学

C：取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには当初計画の縮小等の抜本的な見直しが必要である。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
3	ふくしまの未来を拓く「強い人材」づくり共同教育プログラム	福島大学、会津大学、福島県立医科大学、いわき明星大学、奥羽大学、郡山女子大学、東日本国際大学、福島学院大学、日本大学、放送大学、会津大学短期大学部、いわき短期大学、郡山女子大学短期大学部、桜の聖母短期大学、福島学院大学短期大学部、福島工業高等専門学校
7	愛知県内教員養成高度化支援システムの構築	愛知教育大学、愛知県立大学、桜花学園大学、名古屋学芸大学、名城大学
21	地域連携による「ものづくり」継承支援人材育成協働プロジェクト	九州工業大学、北九州市立大学、 <u>九州歯科大学</u> 、産業医科大学

【分野連携】

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
2	グローバル社会を担う次世代型獣医学系大学教育機構の構築	東京大学、日本大学、日本獣医生命科学大学、麻布大学
5	研究者育成の為に行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開	東京医科歯科大学、信州大学、福島県立医科大学、北里大学、上智大学、沖縄科学技術大学院大学
10	多価値尊重社会の実現に寄与する学生を養成する教育共同体の構築	琉球大学、福岡県立大学、沖縄県立看護大学、名城大学、国際医療福祉大学、産業医科大学、聖マリア学院大学、日本赤十字九州国際看護大学
12	データに基づく課題解決型人材育成に資する統計教育質保証	東京大学、大阪大学、総合研究大学院大学、 <u>青山学院大学</u> 、多摩大学、立教大学、早稲田大学、同志社大学
15	実践力と創造力を持つ高信頼スマート組込みシステム技術者の育成	北陸先端科学技術大学院大学、 <u>金沢工業大学</u>
24	海事分野における高専・産業界連携による人材育成システムの開発	富山高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
1	教学評価体制(IRネットワーク)による学士課程教育の質保証	北海道大学、お茶の水女子大学、琉球大学、大阪府立大学、玉川大学、同志社大学、関西学院大学、甲南大学
3	東京コンソーシアムを基盤とした大学院疾患予防科学コース設立	<u>東京医科歯科大学</u> 、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学
4	連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム	東北大学、新潟大学、広島大学
6	繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成	福井大学、信州大学、京都工芸繊維大学
7	四国防災・危機管理特別プログラム共同開設による専門家の養成	徳島大学、香川大学
9	地域の医療現場と協働したサービス・イノベーション人材の育成	<u>宮崎大学</u> 、北陸先端科学技術大学院大学、久留米大学

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
11	学士力養成のための共通基盤システムを活用した主体的学びの促進	山梨大学、愛媛大学、佐賀大学、千歳科学技術大学、北星学園大学、創価大学、愛知大学、桜の聖母短期大学
13	ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成	北海道医療大学、岩手医科大学、昭和大学
14	国際機関等との連携による「国際協力人材」育成プログラム	明治大学、立教大学、国際大学
17	〈考え、表現し、発信する力〉を培うライティング／キャリア支援	津田塾大学、関西大学
18	主体的な学びのための教学マネジメントシステムの構築	淑徳大学、北陸学院大学、関西国際大学、くらしき作陽大学
19	四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革	徳島大学、徳島文理大学、松山大学
22	分野別到達目標に対するラーニングアウトカム評価による質保証	函館工業高等専門学校、仙台高等専門学校、茨城工業高等専門学校、長野工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、鈴鹿工業高等専門学校、高知工業高等専門学校
23	KOSEN発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト	一関工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、長野工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校、沖縄工業高等専門学校

B：一部で計画と同等又はそれ以上の取組もみられるものの、計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するには、助言等を考慮し、一層の努力が必要である。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
8	未来像を自ら描く電気エネルギー分野における実践的人材の育成	九州大学、九州工業大学、熊本大学、福岡大学、福岡工業大学
16	産学協働教育による主体的学修の確立と中核的・中堅職業人の育成	新潟大学、成城大学、京都産業大学、福岡工業大学
21	短期大学士課程の職業・キャリア教育と共同教学IRネットワーク	香蘭女子短期大学、精華女子短期大学、福岡女子短期大学、佐賀女子短期大学、西九州大学短期大学部、長崎女子短期大学、長崎短期大学

C：取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するためには当初計画の縮小等の抜本的な見直しが必要である。

整理番号	取組名	連携校 ※下線は代表校
20	基幹保育者養成プログラム開発のための共同教育事業	桜花学園大学、岡崎女子大学、岡崎女子短期大学、 <u>名古屋短期大学</u> 、名古屋柳城短期大学